

### 第11期 環境市民会議（第4回）議事要録

令和3年2月5日（金） 午後3時～午後5時 於 武蔵野市役所対策本部室

出席者 朝日 双葉、麻生 明子、新井 保志、小川 隆申、小餅 憲一、鈴木 雅和  
 千葉 百子、白田 紀子、村上 明、山本 富士雄、荘司 史朗、藤野 一、  
 三吉 朋典、荻野 芳明

#### 1.第五期武蔵野市環境基本計画（中間まとめ）のパブリックコメント実施結果報告

	発言者	発言要旨
パブリックコメントNo.1に対する意見として		
(1)	委員	新型コロナウイルス感染症について、市町村は国とは異なる、草の根の活動を実施して いてほしい。
パブリックコメントNo.4に対する意見として		
(2)	委員	カーシェアリングがCO2削減に寄与しているというエビデンスはないのか。
	委員長	このアンケートは、市民の意識調査であり、CO2削減などの根拠とするものではない。
	事務局	表現については再考するが、マスタープランという本計画の性格もご理解いただきたい。
パブリックコメントNo.8に対する意見として		
(3)	委員	庁内でのプラスチックの利用はまだある、と読み取れるが、完全廃止することはできない のか。
	事務局	エコオフィス武蔵野で「極力使わない」と表記しており、現段階で完全廃止することは難 しい。計画における表現については再考する。
パブリックコメントNo.9、10に対する意見として		
(4)	委員	武蔵野市らしい生物多様性について、その歴史的背景を玉川上水などを例示しもっと具体 的にしてほしい。
	事務局	生物多様性基本方針との整合性をもう一度確認する。
第五期武蔵野市環境基本計画（中間まとめ）全体に対して		
(5)	委員	レジ袋の使用は減少したと感じる。それ以外のビニール袋の使用量も抑制できるような、 市の革新的な事業展開等を期待する。
		SDGsについて、具体的な市民が参画できる施策を実施してほしい。
	事務局	具体的な施策実行にあたり、検討したい。
	委員長	具体的な施策や啓発について、エコレポートが大きな役割を果たすと考える。
(6)	委員	キクガシラコウモリが新型コロナウイルス感染症の感染源ではない。日本固有種の印象が 悪くなる。
	事務局	キクガシラコウモリについて、意見交換会で触れられた意見があったため、策定経過とし て資料編に掲載している。

2.武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021（中間まとめ）のパブリックコメント実施結果報告

※「事務事業編」とは「武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021（事務事業編）（中間まとめ）」、「区域施策編」とは「武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021（区域施策編）・武蔵野市気候変動適応計画2021（中間まとめ）」を指す。

	発言者	発言要旨
事務事業編全体に対する意見として		
(1)	委員	「事務事業編」という表現がわかりにくい。「公共施設編」としてはどうか。
	事務局	温暖化対策実行計画は、法律によりその策定等が定められており、「事務事業編」というタイトルもそれに準じている。
(2)	委員	プラスチック使用量削減が求められているが、市の会議でペットボトル飲料の提供は行っているのか。
	事務局	極力使わないことを全庁に周知し、提供量は減少している。
区域施策編パブリックコメントNo.3に対して		
(3)	委員	CO2の実質排出量を2010年比で50%削減とすると、2013年比では何%削減になるのか。
	事務局	区域施策編14頁を参照。35%削減となる。
区域施策編パブリックコメントNo.5に対して		
(4)	委員	気候変動対策について、市が牽引するよう意見が出ている。もう少し丁寧な回答をしてはどうか。
	事務局	賛同意見に対しては、統一的な表現をしている。
事務事業編及び区域施策編全体に対して		
(5)	委員	事務事業編の図表3と区域施策編の図表7を比較すると、前者は2019年まで表記があるのに、後者は2017年までの表記であるのはなぜか。
	事務局	前者は市独自に入手できるデータだが、後者は国や都が集計し、提供されるデータであるため、タイムラグが生じている。
(6)	委員	温暖化対策に向ける市の具体的な姿勢が見えてこない。SNSなど適切な媒体を活用してはどうか。
	事務局	エコレポートがその役割を担うことになる。啓発施設から離れた地域に住む人にも情報が届くようSNSの活用、また本年度は環境フェスタオンライン開催などに取り組んだ。
(7)	委員	米国大統領や日本の環境大臣の発言からも、温暖化対策はここ5～10年に重要な岐路に立つと感じている。

3.武蔵野市エネルギー地産地消プロジェクトについて（報告）

	発言者	発言要旨
(1)	委員長	他自治体などから視察は来ているか。
	事務局	複数受け入れている。
(2)	委員	ごみ発電イコールCO2排出量ゼロという表現は適切か。
	事務局	ごみを燃やして発生する蒸気だけでタービンを回すことは可能なのか。 ごみ処理時にはCO2を排出するが、発電におけるCO2排出はゼロであるということ。

#### 4.むさしのエコreゾート開館について（報告）

	発言者	発言要旨
(1)	委員	ひと昔前から、情報量が2000倍になっているとも言われている。市として、確かな情報発信源となるリソースがあることは素晴らしい。クリーンセンターの歴史を子どもたちに伝える場としても活用されることを期待する。
(2)	委員	今後、小中学校の建て替えが順次始まり、環境に配慮した最新鋭の公共施設となるはず。子どもが環境について学ぶ機会につながることを期待する。
(3)	委員長	まずは、小学生を中心に活用してもらい、もっと知名度が上がるとよい。